

令和3年度第1回図書館協議会（議事録要旨）

日時 令和3年7月13日(火) 午後2時～

場所 豊明市立図書館会議室

出席 委員（8名） 山田、橋本、近藤、小柳津、宮坂、柴田（初）、鈴木、高木
事務局（3名）

傍聴希望者1名、会場に入場。

議題

- (1) 令和2年度事業報告について
資料1「令和2年度実績報告書」に基づき説明。
- (2) 令和3年度事業計画について
資料2「令和3年度図書館事業計画」に基づき説明。
- (3) 図書館協議会開催規則（案）について 資料3
- (4) 栄予約本受取時間の短縮について 資料4
- (5) その他
 - ・南部公民館リニューアル（案）について 資料5
 - ・南部公民館駐車場について 資料6

質疑応答等

(1) 令和2年度事業報告について 資料1

委員：資料1 p.29 (14) 図書館活動指標 14. 貸出コストについて
昨年度より84円の増額となっているが、要因は何が考えられるか。

事務局：コロナの影響で昨年度より来館者数が減っている。また、コロナ対策のために消毒機等の導入を行うなど諸経費が増えた。貸出冊数に対して図書館総経費が増加したため、貸出コストが大幅に増額となっている。

(2) 令和3年度事業計画について 資料2

特になし。

(3) 図書館協議会開催規則（案）について 資料3

事務局：図書館協議会を開催するにあたり、規則がなかったため、新たに作成をした。
昨年度コロナ対策の一環で行った書面会議についても盛りこんだ内容となっ

ている。

委員長：本議題について表決はどのようにするか。この場で承認をとるのか。

事務局：特段反対がなければ、この後市の専門委員会・審査会を通して文面・内容を精査をし、教育委員会にかける。その後市長まで決裁をとり認められれば規則が承認される。

（４）栄予約本受取時間の短縮について 資料４

事務局：毎週２時間の待機時間に対し、利用者は７名（４家族）のみとなっている。

そのため、待機時間を１時間縮小することを検討したい。

委員：いっそのこと中止にしてはどうか。

事務局：栄分室を閉室した経緯があるので、１年で中止とはせず、もう少し様子を見たいと考えている。その結果、やはり利用者が少ないということであれば中止も視野に入りたい。

委員：栄分室閉室は地域でも問題となっている。現在はコロナの影響もあり、利用を控えている市民もいるので、利用者がいる間は存続してほしい。

委員長：館小学校区では栄分室閉室についてどうでしょうか。

委員：児童館があるため、館小学校では栄分室を惜しむ声はあまり聞かない。

委員：予約本の受取りについて、周知徹底をしてほしい。栄小学校に協力を求めたり、町内会での回覧板の利用を検討してもらえれば。

委員：利用者の年齢層はどうなっているのか。

事務局：利用の多い３家族は、比較的高齢の２家族と親子が１家族。１家族は車を利用できないが、他の２家族は車を利用している。

追加になるが、栄分室の機能は将来的に南部公民館に移行するので、利用者がいるからと存続し続けることは難しい。

委員：栄分室閉室の経緯があるので、できるだけ存続してほしい。人件費もかかってくることなので、何がなんでも存続というわけではないが、状況をみながら検討をしてもらえればと思う。

委員長：図書館の経営について、ファッションな図書館、地域の図書館どちらも大事だと思うが、豊明に関しては地域の図書館というものを大事にしてほしい。

委員：時間帯については、１０時半までとなるのか。

事務局：時間帯については未定。提案をもらえれば、考慮した上検討したい。

委員：日曜日という図書館の忙しい日に、職員が２時間２人もいなくなるのは負担だと思う。費用対効果が低い。

事務局：栄予約本受取について、時間を1時間短縮することについては承認いただけるでしょうか。

(承認)

委員：共働き家庭も多く、朝早いと親が起きていない家庭も多い。9：30開始ではなく、10：00以降開始がいいと思う。

(5) その他

・南部公民館リニューアル(案)について 資料5

事務局：資料5について、意見をお聞かせください

委員長：アンケートを受けたが、現存のものを活かしながら新しいものをつくるというのは大変難しい。希望が全て可能とは限らない。

委員：コロナ禍の影響か中高生の学習スペースが少ない。自分の自室がないという学生もいる。学校帰りの学生たちが活動できるような場所であってほしいと思う。今の計画では、どれくらいのスペースが確保できそうか。

事務局：図面にある椅子の数だけ。足りない場合、協議会の意見として報告する。

委員：出張所横にある椅子も学習スペースか。

事務局：出張所の待合スペースにあたる。

委員：利用者が多い時は折り畳みの椅子等で座席数を増やしたり、会議室の利用がない時は学習室にしたりと臨機応変に使えるスペースがあると良いと思う。

委員長：専門の建築士等に相談などしているのか。

事務局：このリニューアル(案)はあくまで原案の状態。できるだけたくさんの案を取り入れたもので設計に入るので、今はまだ意見を収集している段階にあたる。限られたスペースと予算の中で利用者の方が使いやすい形にしていきたいので、たくさんの意見をお願いしたい。

委員：会議室Bの利用状況はどうか。空いている時間が多いなら、その時間は学習室にするなどはどうか。

事務局：公民館(生涯学習課)が管理をしているため正確な数値はわからないが、コロナ禍の現在でもかなりの利用率であると聞いている。ただ、空いている時間は部屋を開放するなどは検討の余地があるので、報告させていただく。

委員：栄学区の学生は徒歩で図書館学習室を利用しているが、朝早く図書館の学習室へ行っても席がとれずに帰るという話をよく聞く。それだけ学習室を利用したい学生が多いので、20席というのはあまりに少ないと思う。スペースは限られているが、1席でも増やしてもらえるとありがたい。

事務局：作法室の回転率が低いため、学習室として開放するという案も出ている。

委員：子どもが学生の頃は図書館の学習室を利用していた。しかし、図書館の蔵書を利用しての勉強ではなく、家から持参した参考書類を使用していた。図書館であるのに勉強部屋のように利用されている。他にも公共施設があるので、そういうところに学習室を設け周知徹底をすれば、図書館への学習室の依存率を下げることができるのではないか。

委員：本来は地域で子どもの見守りができたら良いが、なかなか現状を打破できない状況にある。家で勉強できない子供のために、せめて図書館に学習室を一席でも多く欲しい。親御さんも安心できる。

委員：図書館・図書室のスペースも限られている。限られたスペースの中で、蔵書を優先するか学習スペースを優先するか折り合いをつけることが大事。学習スペースを別施設に持っていく方がよいと感じた。

事務局：施設のスペースには限りがある。よりよい案を検討するためにも、南部公民館図書室の蔵書についても意見を伺いたい。

委員：立地のよい場所にあり、豊明市の顔にもなれる施設。あれもこれもというのは難しいので、ピカピカの新刊本や厳選したお奨め本等も並べて、アンテナショップのような魅力のある書架にしてほしい。

委員：南部公民館は午後9時まで開館していることが魅力だと感じる。そこに着眼し、通勤者にターゲットを絞ったらどうか。また、古い本が目立つので、新刊を取り揃えてほしい。インパクトを与えるリニューアルとしてほしい。

事務局：南部公民館図書室の現状としては、閉室した栄分室の分の予算を回し、毎週20冊程新刊を購入し、入替えを行っている。新刊はすぐ借りられてしまうため、古い本だけ書架に残ってしまう。昨年度末には実用書等も100冊ほど入れ替えているが、目に留まるのがどうしても残っている本で、古い印象になってしまう。

委員：月刊誌など人気のあるものは2冊おいてほしい。書架をみても新刊がなく、行こうという気持ちにならない。予約などする人もいるので、2冊あれば余裕ができると思う。

・南部公民館駐車場について 資料6

事務局：以下のとおり報告

①無料駐車場 予算を10台とったが、駅前の駐車場は空きがなく、2台しか確保できなかった。

②2台では足りないと思われるので、時間貸し駐車場の業者と協議し、駐車サービス券対応の駐車場を用意。図書館だけでなく公民館利用者へ対しても、最大2時間の利用券を発行。現在、1週間で50名ほどの利用者がいる。